令和4年9月26日~10月2日までの全国の暑さ指数(WBGT)の観測状況 及び熱中症による救急搬送人員数と暑さ指数(WBGT)の関係について (令和4年度第22報)

1. 全国の暑さ指数(WBGT)の観測状況について

9月26日~10月2日の6都市(注1)の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値は、26日と30日~2日は「警戒」を示す25以上となりましたが、その他の日は「注意」を示す21以上でした。

6都市の10年間平均値と比較すると、高い日が続き、2以上高くなる日もありました (図1、表1参照)。

11 都市(注2)では、名古屋、高知、福岡、鹿児島では「厳重警戒」を示す 28 以上となる日があり、那覇では「危険」を示す 31 以上になる日がありました(表 1、表 2 参照)。全国を見ると、東海地方以南で 28 以上、沖縄地方では 31 以上となる日がありました。

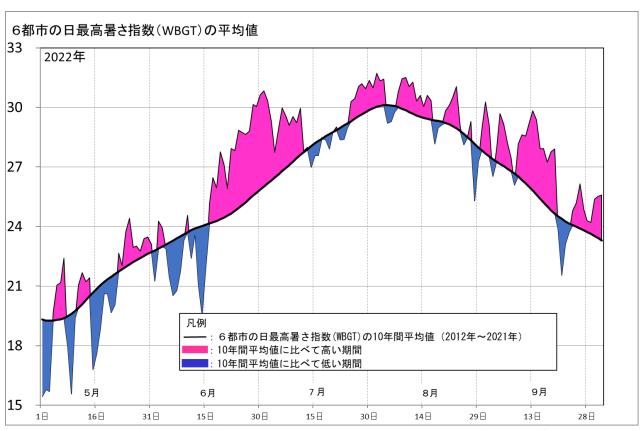


図 1 全国の暑さ指数 (WBGT) の動向と過去 10 年間平均値との比較

表 1 全国 11 都市(注2)の日最高暑さ指数(WBGT)(9月 26 日~10 月 2日)(注3)

日	札幌	仙台	新潟	東京	名古屋	大阪	広島	高知	福岡	鹿児島	那覇	6都市 平均
26	21.0	24.1	24.9	26.5	27.2	27.0	26.2	27.4	25.1	28.7	31.3	26.2
27	20.8	23.0	21.9	27.0	28.0	25.8	22.1	27.5	24.4	28.4	30.9	24.9
28	22.2	21.8	21.4	22.7	25.8	25.5	24.2	28.3	26.1	28.1	31.6	24.3
29	21.7	24.5	22.8	24.1	25.7	23.5	23.4	27.4	25.7	27.3	29.6	24.2
30	23.6	24.6	23.3	25.0	26.2	26.6	24.1	26.3	27.1	27.5	30.0	25.4
1	24.2	24.5	24.0	26.0	25.7	26.1	24.2	27.0	27.2	27.9	30.5	25.5
2	22.5	23.6	23.7	25.7	26.1	25.6	24.4	25.7	28.0	27.9	29.3	25.6

注1 6都市:東京都、大阪市、名古屋市、新潟市、広島市、福岡市

注 2 11 都市: 札幌市、仙台市、新潟市、東京都、名古屋市、大阪市、広島市、高知市、福岡市、鹿児島市、那覇市

注3 表1、表2の値は速報値であり、年度末に発表される確定値とは異なる場合があります。

表 2 全国 11 都市の 9 月 26 日~10 月 2 日の暑さ指数 (WBGT) 超過時間数 (注 3)

				-							•
超過時間数	札幌	仙台	新潟	東京	名古屋	大阪	広島	高知	福岡	鹿児島	那覇
31以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
28以上	0	0	0	0	1	0	0	3	1	7	46
25以上	0	0	0	14	31	19	2	38	25	65	136

ほぼ安全	注意	警戒	厳重警戒	危険
21未満	21以上25未満	25以上28未満	28以上31未満	31以上

2. 6都市の日最高暑さ指数(WBGT)と熱中症による救急搬送人員数(全国)との関係

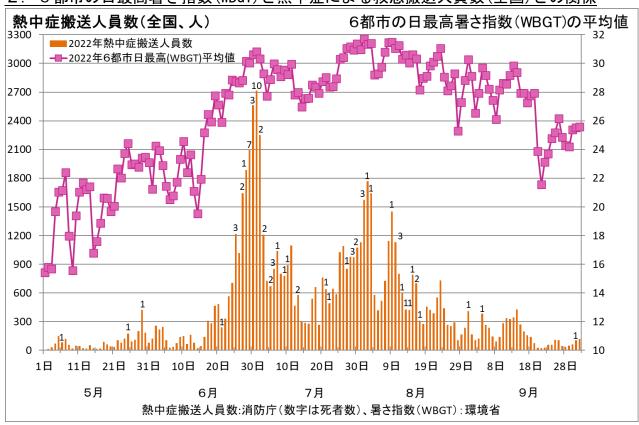


図2 6都市の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値と熱中症搬送人員数の推移

9月 26 日~10 月 2 日までの 6 都市(注1)の日最高暑さ指数 (WBGT)の平均値は、26 日と30 日~2 日は「警戒」を示す 25 以上となりましたが、その他の日は「注意」を示す 21 以上でした(表1、図1)。

消防庁発表の速報によると、熱中症による救急搬送人員数は、多い日が10月2日の117人などで、この期間の総数は513人(死者1名を含む)となりました(図2)。

3. 全国の熱中症警戒アラートの発表状況

9月26日 \sim 10月2日の間、熱中症警戒アラート発表はありませんでした(表3)。

表3 全国の熱中症警戒アラート発表状況(9月26日~10月2日)

地方※1	北海道	東北	関東甲信	東海	北陸	近畿
域内平均**2	0	0	0	0	0	0
のべ回数	0	0	0	0	0	0
地方 ^{※1}	中国	四国	九州北部※3	九州南部	『・奄美	沖縄
域内平均※2	0	0	0	0		0
のべ回数	0	0	0	0		0

※1:気象庁の地方予報区単位(別図参照)

※2:「地方内府県予報区の1週間ののべ発表回数」÷「地方内府県予報区数」

回数は前日17時、当日5時どちらかの発表で1回とカウント

※3:九州北部には山口県も含まれる

4. 今後の見通しと注意点

10月7日までは、伊豆諸島及び近畿地方以南で「警戒」を示す25以上、小笠原諸島、奄美及び沖縄では「厳重警戒」を示す28以上になる地点がある見込みです。

気象庁の週間天気予報 (10月5日発表、予報期間:10月6日~10月12日) によると、「最高気温と最低気温はともに、期間の前半は平年並みか平年より低い日が多く、かなり低い所もありますが、期間後半は平年より高く、かなり高い所もある見込みです。」となっております *4 。

※4:全国の地方週間予報から気温予報の概要を編集。詳しくは気象庁ホームページの最新情報を参照願います。 ○10月になり、涼しい日が多いですが、地域により日中はまだ暑くなる日もあります。

- ・暑い日は外出を避け、室内をエアコン、窓開け等で涼しい環境にしましょう。
- ・暑い日の屋外活動時は適切にマスクを外し、休憩・水分補給を心掛けましょう。
- ・体調変化に気付きにくい、高齢者・子供への積極的な声かけをお願いします。
- ・災害発生時の避難・復旧対応でも、暑い日は熱中症予防に十分留意願います。

参照:「災害時の熱中症予防」20220630_heatillness_leaflet_saigai.pdf (env. go. jp)

